

被害防止  
のために①

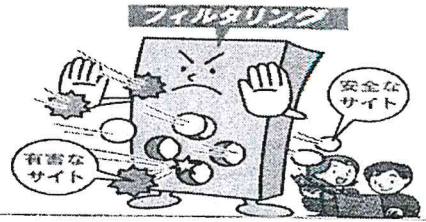


# フィルタリングを必ず利用しましょう！

お子さんが安全にインターネットを利用するためには、従来型の携帯電話は①、スマートフォンは①～③に対応するフィルタリングが必要！



- ① 携帯電話回線による接続  
(電話回線の中で、アクセスを制限する)
- ② 無線LAN回線による接続  
(ブラウザの中で、アクセスを制限する)
- ③ アプリによる接続  
(使用できるアプリを個別に許可・禁止する)



フィルタリングとは・・・  
インターネット上のウェブサイト等を一定の基準に基づき選別し、青少年に有害な情報を閲覧できなくするプログラムやサービスをいいます。

- ▶ 携帯電話大手3社が提供する「あんしんフィルター」では、4段階の中からフィルタリングを選ぶだけです。簡単な設定で①、②、③のフィルタリングが可能です。レベルの変更や、利用したいサイト・アプリごとの許可(追加)、ON/OFFの切り替えも簡単にできます。
- ▶ 青少年インターネット環境整備法では販売店に対し、青少年が携帯電話を使用する際の年齢確認やフィルタリングの説明を義務付けています。保護者は説明をしっかりと聞き、年齢や利用状況に応じたフィルタリングを設定しましょう。

被害防止  
のために②



フィルタリングだけでは、安心は禁物！！

## 家庭の責任で判断能力を！！



### インターネットを正しく使うために(情報モラル)



子供がインターネットを利用する際、保護者は子供が安全に利用できるようにする責任を負っています。フィルタリングと同時に子供の判断能力を育てることが必要です。



子供たちの判断能力を育てるためには、子供と話し合ってルールを決め、ルールを学ばせながら少しずつ自分で判断できる範囲を広げていきましょう。

インターネットを長時間使っている子供は生活全般が乱れがちで、心身の健康を損ねる恐れがあります。利用時間のコントロールについて繰り返し家庭で話し合うようにしましょう。



### 段階ごとのルール例

#### 初めてのインターネット期

生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間をご家庭で話し合って決めましょう。この時期は閲覧のみに制限しましょう。  
考えられるルールとしては・・・

- ・使用時間は1日60分までとする。夜9時以降は使わない。
- ・保護者にことわって、近くで使う。
- ・食事中や車の中では使用しない。

#### 初めてのSNS利用期

メールの利用に慣れてきたら、仲の良い友人や知人に限り、SNSやメールを許可します。家庭内でのコミュニケーションを保ち、ときどきやり取りの様子を見せてもらいましょう。  
考えられるルールとしては・・・

- ・自分や友達の個人情報、写真はネットに公開しない。
- ・メールやSNSは実際に会ったことがある友達だけとする。
- ・自分が言われて嫌な事や悪口はSNSやメールで送らない。



#### インターネットレベルアップ期

利用時間のルールを守れ、使い方にも慣れたら、家族間でメールのやりとりをするなどして、文章の書き方や上手な気持ちの伝え方などアドバイスしましょう。  
考えられるルールとしては・・・

- ・決まった人以外、返信やアクセスはしない。
- ・変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談する。
- ・公共の場で利用する時は、ルールやマナーを守る。

#### SNSレベルアップ期

家庭のルールや社会規範に加え、ネットの特性を理解できる段階になれば、広く活用を許可する。ただし、危険な行為や、犯罪に巻き込まれることを防ぐため、使い方を把握し、必要な注意やアドバイスをする。  
考えられるルールとしては・・・

- ・ネットやSNSで知り合った人とは直接会わない。
- ・他人にIDやパスワードは教えず、ネットでの買い物などは保護者の許可を得る。
- ・ネット上に公開する内容は、送信前にしっかりと見直すとともに、毎月の通信料をチェックし、計画的に利用する。